

地域を元気にする人材育成

公共人材開発機構

北部と大学の橋渡しも

成美大に

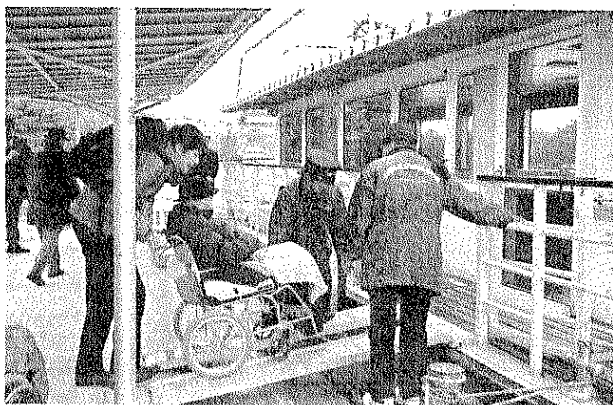
京都北部オフィス

「地域を元気にする」人材を育てる組織が、福知山市西小谷ヶ丘の成美大内に事務所を構えている。一般財団法人地域公共人材開発機構の京都北部オフィス。地域や企業、自治体と大学の橋渡しもして、いくつかのプロジェクトが動き出している。

大学との橋渡しは、一て、車いすの人も楽しめる地域課題解決の方法を大学と一緒に調べてみたい、新しい部品のアイデアを思いついたので大学と共同研究したいといった要望を受け、府内の大学との間を取り持つもの。昨年、宮津市と観光関係者の依頼を受け、大学側からも、例えば京都大学からは、電動アシスト自転車に乗って、太陽光発電な

機構はこうした産官学連携のほか、地域を元気にする「公共人材」の育成も、大きな活動の柱に据える。公共人材の分かりやすい例は、まちおこしなど地域活性化に取り組む人だが、就農して地域に溶け込もうとしている人も、公共人材だ。京都北部オフィスでは、公共人材を掘り起こし、育てていくため府の委託を受け「地域コトおこし」実践者講座を昨年からの開講。受講者の中で意気投合し、今月26日には午後1時から成美大で第3回講演会を開く。講師に、福井県鯖江市で大学生たちと一緒に、農山村の自然や産業、生活を生かしたアート活動をしている河和田アトキヤンプ総合プロデューサーの片木孝治さん（京都精華大学デザイン学部准教授）を迎える。

学生たちとアートを通じて地域支援をしている片木さん。26日に講演する



昨年12月に宮津市で産官学が連携して行われたバリアフリー観光の調査

だれでも受講でき、申し込み不要で、無料。講座、大学連携とも問い合わせは京都北部オフィス、電話（45）3517へ。

実践者を迎え26日に講演会

実践者を迎え26日に講演会